

桐原、浅里の計4か所で実施

## アマゴの稚魚 7,000 匹を放流

三重熊野川漁業協同組合は5月8日、アマゴの稚魚 7,000 匹を放流しました。

これは、近年生息数が減少してきたアマゴを保護するために毎年行っているもので、カワウなどの外敵に襲われない林道桐原浅里線沿いの山奥など4か所で行われました。

組合員がアマゴをそっと水に放すと、体長約5～6センチのアマゴは、体をくねらせながら、元気よく泳いでいました。

漁協の方の話では、放流された稚魚は1年ほどで20cm弱の大きさになるそうです。

Town topics  
5 / 8



01. アマゴの稚魚を放流。02. 元気に泳ぐアマゴの稚魚



ぬいぐるみを積み上げる子どもたち

Town topics  
4 / 16

多彩なイベントで大盛況

## ウミガメ公園で第12回周年祭

道の駅ウミガメ公園は4月16日、第12回周年祭を開催しました。このイベントは、平成17年に「地産地消」と「観光」の新たな拠点としてオープンした物産館の12周年を記念して開催したものです。

イベントでは、カレーパン、から揚げなどの食べ物の販売のほか、ペーパーボンボン作り、カメレンジャーとの撮影会なども行われ、多くの来場者で賑わいました。

カメのぬいぐるみを時間内に何体積めるかをチャレンジするゲームコーナーでは、子どもたちは真剣な表情で慎重にカメのぬいぐるみを積んでいました。

また、午後からは井田海岸でウミガメの放流も行われ、子どもたちが見守るなか、ウミガメが海へ帰っていきました。



01. 田植えをするため田んぼに足を踏み入れる児童たち。02. 竹定規を使いすじつけにも挑戦。



Town topics  
4 / 27

竹定規を使って「すじつけ」にも挑戦

## 神内小児童が田植えを体験

神内小学校の4～6年生37人が4月27日、学校近くの田んぼで田植えを体験しました。

これは、神内生き活き協議会や地元の住民たちの協力のもと、地域をより深く学ぶとともに、食料問題や利水など農業について考えることを目的に毎年行っているものです。

6年生は竹定規を使い、田んぼに稲をきれいに植えるための線を引き「すじつけ」に挑戦。その後児童たちは靴下のまま田んぼに入り、泥の感触を楽しみながら1株1株稲を手で植えていました。

今後、地域と協力しながら水の管理や草取りなどを行い、9月ごろには稲刈り体験を行う予定です。



Town topics  
5 / 2

01. ホタルの生態などを解説する蔵本会長

ホタルについて学び、想いを込めて描く

## ホタルが飛び交う美しいまちに

ほたるを守る会は、ホタルについて学び環境問題について考えてもらおうと、町内の小学校でホタル出前授業を行いました。井田小学校では5月2日、蔵本一範会長と山口和洋さん、矢熊敏男さんが学校を訪れ、4年生22人を対象に学習会を実施。写真やイラストをスクリーンに映しながら、ホタルの種類や特徴のほか、生息場所や貴重な生き物を守っていくために何が必要かなどを解説しました。

また、5月10日に訪れた成川小学校と相野谷小学校では、児童が灯ろうに張る紙に何色もの絵の具やクレヨンなどを使い、それぞれのイメージするホタルを描いていました。

各小学校で描かれた全てのホタルの絵は、5月27日にふるさと資料館前広場で開催される、「ほたる灯ろう展」にて展示されます。児童たちが描いた、思い思いの絵をご覧ください。



Town topics  
5 / 10

02・03・04. 絵の具やクレヨンを使って、思い思いのホタルの絵を描く児童たち。



第28回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会

## 矢渕中男子が団体の部で大活躍

第28回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会が3月26日から28日にかけて伊勢市で開催され、矢渕中学校男子ソフトテニス部の池田匠吾さん、松月亮太さん、岩本幸大さん、仲川晴智さんが三重県代表として出場し、男子団体の部で準優勝に輝きました。

同大会は、各都道府県の選抜チームによる対抗戦で、男女のダブルス、シングルス、団体戦で争われ、男子団体は3月28日に行われました。三重県選抜は2回戦で昨年夏の全中優勝メンバーを擁する埼玉県選抜を制するなど奮闘しましたが、惜しくも決勝で和歌山県選抜に敗れました。

表彰訪問に訪れた4人は町長に大会の結果を報告し、全日本U-14の指定選手にも選ばれた池田匠吾さんは「今回は2位だったので、夏は優勝したい」と意気込みを語っていました。



全国準優勝した矢渕中のメンバー（左から、池田匠吾さん、松月亮太さん、岩本幸大さん、仲川晴智さん）

Town topics  
3 / 26 ~ 28